

企画展 薬害を語り継ぐ サリドマイド スモン 薬害ヤコブ

開催にあたって

戦後、それまでの医制から医師法、医療法、旧薬剤師法などが整備され、日本が近代的医療体制の確立を目指し始めた1940年代後半から現在まで、薬害は繰り返されてきた。公害同様、薬害も科学技術の産業化を急速に振興することを優先し、様々な危険を軽視してゆくことによってもたらされた人災である。医薬品の安全性よりも利便性をも含む有用性が強調され、より多く販売されることが良いことであるかのような価値観は薬害が必然的に生み出される先行条件となった。

薬害被害は筆舌に尽くし難い苦痛や死をもたらし、被害者は今なお、薬害被害との闘いを余儀なくされている。しかし、一方で被害者は、その傷ついた身体から発せられる叫びにも似た想いに支えられて、日々薬害根絶への活動を続けている。

それぞれの薬害は単に過去の歴史なのではなく、近代社会そのものに内在する根本的欠陥を、あざやかに指し示す教訓の宝庫である。また、薬害被害者が、被害とともに生きてきた軌跡は、決して平坦なものではないものの、被害者各々の生の営みは、多くの輝きに満ちたものでもある。

本企画展では、そのことを訪れた人々に感じてもらえれば幸いである。

ミニシアター & トーク

- 長編記録映画「人間の権利—スモンの場合」(1979年)120分
- 「命を取り戻せ～薬害肝炎訴訟の軌跡～」(2010年)26分
- 薬害被害の映像
- 薬害被害当事者の証言など

※上映会、証言のスケジュールは大阪人権博物館ホームページと館内掲示版にて随時掲示します。

● 開館日と時間

- ◇ 水～金曜日 10:00～16:00 (入館は15:30まで)
- ◇ 土曜日 13:00～17:00 (入館は16:30まで)

● 休館日

- ◇ 日～火曜日・祝祭日・毎月第4金曜日

● 大阪人権博物館 入館料

	大人	高大生	小中生	65歳以上
個人	500円	300円	200円	300円
団体	400円	200円	100円	200円

◇ 障害のある方は介助者と共に入館無料

展示内容

- 写真で観る薬害被害者の歴史
- 薬害の原因と加害企業・薬務行政
 - 現物展示：薬害被害の原因となった薬品等
 - グラフィック：薬害と医薬品安全監視体制
- 闘いの軌跡 裁判資料 支援運動資料 和解確認書等
- 生きた証を未来に 被害者の遺品や絵画・作品等
- 映像と音声による被害者の証言と展示解説



サリドマイド製剤



キノホルム1000錠入り缶



スモン被害者の絵



薬害ヤコブ病裁判資料



被害者の証言トーク



スモンの闘い国会へ向かって!

関連企画

- シンポジウム 第17回 薬害根絶フォーラム
- ワークショップ 教育は子どもたちに薬害を伝えているか、学校は子どもたちを薬害から守れているか

● 交通のご案内

- JR環状線「芦原橋」 約600m
- JR環状線・大和路線「今宮」 約800m
- 南海汐見橋線「木津川」 約300m



全国薬害被害者団体連絡協議会加盟団体

MMR被害児を支援する会 大阪HIV薬害訴訟原告団 公益財団法人いしずえ(サリドマイド福祉センター) NPO法人京都スモンの会 薬害筋短縮症の会 薬害ヤコブ病被害者・弁護士全国連絡協議会 陣痛促進剤による被害を考える会 スモンの会全国連絡協議会 東京HIV訴訟原告団 薬害肝炎全国原告団 イレッサ薬害被害者の会

URL: <http://homepage1.nifty.com/hkr/yakugai/>